

2021年4月1日配信

# 稲山会オンライン通信②

発行人：行方正幸 発行所：稲門山の会事務局 TEL 03-3367-3723 FAX 03-3367-8150 ©稲門山の会1998



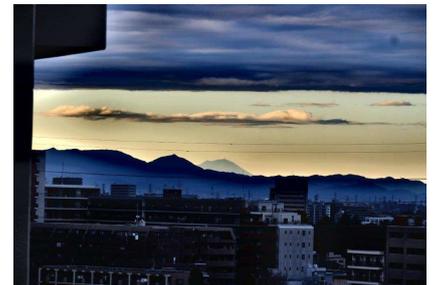
横浜からの富士山の雪煙：笠原 0B



川越からの富士山：斉藤雄二 0B



葉山 YH からの富士山：行方正幸 0B



和光市からの男体山、筑波山、浅間山：新井昭夫 0B

## 1. 日本百名山だよ。全員集合♥

稲山会通信オンラインという、メーリングリストを活用したニュースレターの第2号を配信いたします。第2号のテーマは「百名山だよ、全員集合！」ということでやろうと思いましたが、会員の皆さんから寄稿やご意見など反響はなく、残念ながら企画倒れに終わりました。陳謝。しかし、稲門山の会には百名山の完登者が10人もおります。是非後日、完登者を一堂に会してお話をお聞きしたいと思います。この他にも百名山を完登された会員がいらっしゃればお知らせください。

それ以外にも、会員の皆さんからメールで頂いた登山報告、近況、日常のお知らせ等で是非とも会員に読んでいただきたいものをニュース・レターにまとめて配信しようと思います。(勿論配信する前にご了解を頂きます)。つきまして皆さんの山の思い出、苦労話、短歌・俳句、山の写真等、普段の気楽なメールで結構なのでお願いします。皆さんの楽しいメールや手紙をお待ちしております。 【行方正幸紀】

### (1) 石原順三 0B (S51 卒) (2021. 02. 06 メール)

笠原さんが2020年1月25日に筑波山で百名山を達成されたとか。

私もやってみて分かったのですが、これは中々大変なことです。深田久弥氏の「日本百名山」は謂わば山屋のバイブルのような名著ですし、山やりかけたら、皆一度は考えることだと思うのですね。しかし大概30~40座位でこりゃとても無理だわと諦めるんですね。山の会の0B340名の内、達成者が10名。百名山完登者の私が調べたリストを送らせていただきます。 大国恒雄 0B、本橋隆夫 0B、廣瀬舜一 0B、恩田和夫 0B、金子弘吉 0B、打矢之威 0B、松本啓之亮 0B、笠原 0B、長谷川徹 0B、石原順三 0B です。

早大ワングル部の0B300名程の内、達成者は5名程らしいです。依頼されたら一杯苦労話が出てくると思いますよ。

## 2. 早稲田大学校友会事務局より (2021. 03. 04 メール)

支部・稲門会 各位

平素は校友会活動にご協力を賜り、御礼申し上げます。早稲田大学校友会で『早稲田学報』の制作を担当しております森田と申します。

校友会では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年12月末まで会議・各種総会・会合・イベント等の校友会・稲門会活動実際に集まっての活動)については、開催を中止・延期とする措置を取らせていただいております。

昨年にもご依頼のメールをさせていただきましたが、その後、状況は収束していない中、各稲門会を多く、校友会誌『早稲田学報』(「稲門だより」ページにて写真付き)で紹介させていただきたく、再度ご連絡を差し上げております。もうすでに御原稿をいただいている稲門会さまには、重複メールの煩瑣をお詫びいたします。どうぞご放念くださいませ。

登録稲門会は1,380を超えますが、会の名称からはどんな活動をしている稲門会なのか分からないこともあるかと思えます通常、新規登録稲門会を対象としている企画ですが、今回は既存の登録稲門会を対象とします。稲門会の概要や活動内容などを紹介し、この機会に新規会員獲得の一助となる広報ができればと考えております。もし、ご協力をいただける場合は、以下のとおり、原稿と画像をご用意いただき、3月31日(水)をめぐりにお送りいただけますと幸いです。

- ・稲門会の紹介文(300文字程度)
- ・執筆者の方のお名前(原稿末尾に掲載します)
- ・お問い合わせ先(連絡先EメールやウェブサイトのURLなどありましたら、併せてご紹介ください)
- ・活動内容が分かる画像1点と写真内容を説明する文章(印刷のため高解像度の画像を希望します)原稿と画像をお送りいただいた順に、早稲田学報6月号より掲載していきます。

いただいた原稿内容について、確認のためご連絡を差し上げることがございます。

➡ 「早稲田学報」へ稲門山の会の紹介文を送ろうと思います。

### ■早稲田学報

校友会発行の校友コミュニケーション誌。奇数月15日、16万2,000部発行。

<http://www.wasedaalumni.jp/know/gakuho.html>

ご不明な点がございましたら、お問い合わせくださいませ。お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。みなさまお身体を大切になさってくださいませ。

\*\*\*\*\*

森田 久美子 Morita Kumiko

早稲田大学総長室校友課・校友会事務局

電話：03-3202-8040 内線：71-2390

FAX：03-3202-8129

〒169-8050 東京都新宿区戸塚町1-104

Eメール：k.morita11@kurenai.waseda.jp

URL：http://www.wasedaalumni.jp/

\*\*\*\*\*

### 3. ネパールの山仲間との交流 (2021. 02. 08 笠原 豊 OB(S40 卒) メール)

行方様：幹事のみなさん、支援のみなさん。ネパールの山の仲間との交流に関し以下の通りご紹介いたします。

ネパールのヒマラヤトレッキングなどで、山の会の一部の OBG は現地山岳案内人のみなさんにお世話になっています。ネパールでは、山岳案内を含む観光分野は同国の主要な産業ですが外国からの顧客に依存しています。ところが、新型コロナ (COVID-19) により感染予防策として国境が封鎖され甚大な被害を被っているようです。

カトマンズにある「ホシトレックス社」には、山の会 OBG が過去に数度トレッキングのお世話になり、代表者のパダムさんとはその後もメール交換を続け、日本で 2 度お会いしました。メール交信から、山岳案内の業務が激減し雇用の維持も困難になった窮状を知りました。打矢 OB から、「トレッキングでお世話になった人たちに山岳同好の友として支援しよう」と、トレッキング経験者に呼びかけたところ賛同を得て打矢 OB がまとめてパダムさん宛に送金しました。

なお、個人的に情報交換することもおありかもしれないので参加者を次に記しておきます。恩田、栗又、真下、井上、打矢、笠原。また、トレッキングの日本側代理人である「白馬のペンションあぎ」の森正紀さんの方でも支援活動をしていらっしゃるの、他の OBG が参加しているかもしれません。ペンションあぎは、昨年の WMS 新年会で打矢 OB から紹介がありました。が次の通りです。

また、パダムさんから写真付きの報告が返ってきましたので、下に引用 (転送) 紹介してご参考とします。



ハタム返信写真 1



パダム返信写真 2

多くはない支援ですが一定のお役には立てたようです。

WMSのみなさんの中には、今後ヒマラヤトレッキングなどでネパールを訪れる方もおありと思いますが、ネパールのみなさんとの交流を大切に行きたいと思っております。

打矢 OB が主体的に進め内容の多くを占めていますが、私が代わってご紹介する次第です。

## 4. 稲門山の会・早大山の会の会員の近況

### (1) 豊田紳二 OB (S47 卒)ら2件の登山報告

#### ① 箱根外輪山(2021. 03.05 メール)

日程：2021年2月13日(土)曇り

山域：明神ヶ岳 1,169.1m & 明星ヶ岳 923.9m (箱根外輪山)

メンバー：豊田紳二 & 久子計2名



明神ヶ岳頂上にて

新宿駅からJR。大雄山駅からのバスは他に登山客が四名。  
最乗寺で初詣。

明神橋からは急登、数分で尾根の上に出る。風も無く、暖かい。  
九時半、寺から法螺貝や太鼓の音が聞こえてくる。  
まだ数は少ないが小鳥が囀っている。時々太陽が出ると汗だくになる。  
頂上が近くなるとぬかるみで歩き難い。  
外輪山の上に出ると噴煙を上げる大涌谷が真正面。  
明神ヶ岳の頂上には約二十名の登山者。  
金時山や、時々雲間から顔を見せてくれる富士山を眺めながらゆっくり昼食。

明星ヶ岳への稜線は、群生している篠竹の中を歩く。  
なだらかな明星ヶ岳頂上には石碑が鎮座している。  
宮城野橋からバスで強羅駅に。ロマンスカーを利用。  
小田急デパート食堂街の蕎麦屋「つづらお本店」で  
夜景を見下ろしながら食事。

コースタイム：

道了尊バス亭 8:46/8:50 -最乗寺・明神橋 8:58/9:12

-尾根上 9:18 -林道 9:36 -見晴小屋 10:10/10:15

-休憩 11:19/11:25 -明神ヶ岳 11:50/12:50 -

明星ヶ岳 14:03/14:28 -登山道入口 15:16 -宮城野橋バス停 15:32



金時山、奥に富士山

### ～最近気になる本～ by Namekata

デス・ゾーン: 栗城史多のエベレスト劇場

集英社, 2020 - 341 ページ

河野啓著

両手の指九本を失いながら“七大陸最高峰単独  
無酸素”登頂を目指した登山家。彼には誰にも言  
えない秘密があった。2020年第18回開高健  
ノンフィクション賞受賞作。



## ②茅ヶ岳(2021. 03. 15 メール)

日程： 2021年2月28日(日) 快晴

山域： 茅ヶ岳 1,703.5m (奥秩父)

メンバー： 豊田紳二 & 久子 計2名

朝五時半出発。沈んで行く満月に向かって走る。  
笹子トンネルを抜けると白根三山、荒川岳、  
赤石岳、聖岳が見渡せる。

深田記念公園の駐車場、既に車が十数台。  
女岩の分岐からは急登に喘ぐ。稜線に出ると

南アルプスの荒川岳が見えてくる。続いて、富士山、金峰山、瑞牆山。深田久弥氏終焉の記念碑  
を過ぎると間もなく頂上。

風も無く、丁度良い気温。登山者が二十人前後。360°の展望を楽しみながら昼食。  
下山時、女岩分岐と駐車場の中間位で、目の前を鹿が横切る。

増富の湯でラジウム温泉に浸かりながら体を休める。

韭崎 I.C. から高速道路に入ると、車両火災事故があり相模湖付近は通行止めの表示。

双葉 SA のレストランで食事をしながら時間をつぶす。結局、待つこと三時間。

帰りは登って来た満月に向かって走る。

コースタイム：

深田公園駐車場 08:00 - 女岩分岐点 09:00/09:05 - 尾根上 9:41 - 茅ヶ岳頂上 10:02/11:37

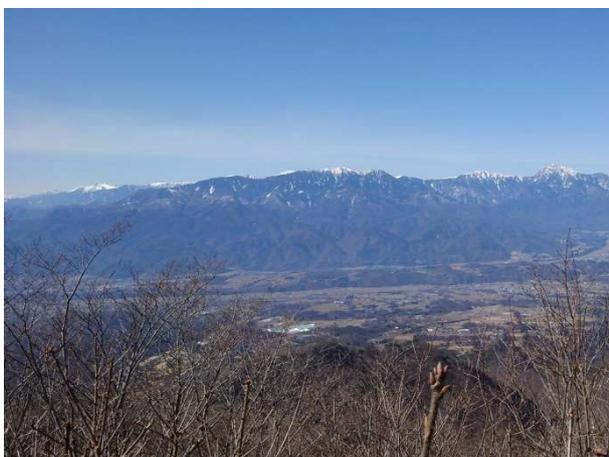
- 女岩分岐点 12:23/12:33 駐車場 13:17

< 茅ヶ岳頂上からの眺望 >

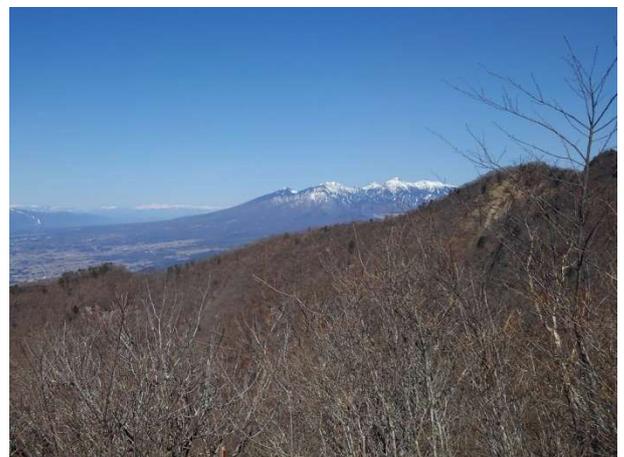
直ぐ隣の金山の奥に八ヶ岳、更に奥に大天井岳から穂高連峰、乗鞍岳、甲斐駒ヶ岳。鳳凰三山の稜線越しには白根三山の山頂部、荒川岳、富士山、金峰山、瑞牆山を遠望。



茅ヶ岳山頂



赤石岳、荒川岳、白根三山 & 甲斐駒ヶ岳



穂高連峰などの北アルプス & 八ヶ岳

## ③筑波山(2021. 03. 24 メール)

日程：2021年3月20日(土) 曇り

山域：筑波山・男体山(871m) &amp; 女体山(877m)

メンバー：森村(Leader)、吉田、奥野、岸、豊田久子 &amp; 紳二 計6名



女体山頂上にて奥野、森村、久子、吉田、岸 &amp; 豊田

千露里庵倶楽部青年部の月例登山。六名の最長老は81歳、最年少は61歳、平均67歳、計404歳。

神社の大鳥居で集合。神社駐車場隣の梅林で鶯が鳴いている。

御幸ヶ原コースを辿り御幸ヶ原に着くと家族連れで賑わっている。男体山頂上も人が多く写真を撮って早々に下る。

御幸ヶ原で休憩・昼食。久子持参のカステラで皆さんに71歳の誕生日を祝って貰う。



男体山頂上にて



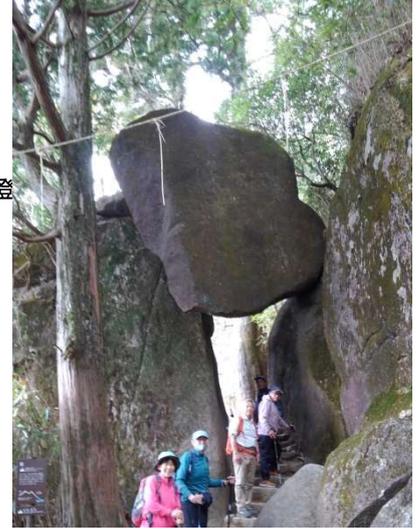
71歳の誕生日

女体山頂上も登山者が多い。

白雲橋コースを下る。上部には名前が付けられた巨岩が多いが中でも「弁慶の七戻り」は圧倒的。



ちょっと一服



弁慶の七戻り

コースタイム：

筑波山神社 9:10/9:30 - 休憩 10:03/10:08 - 御幸ヶ原 10:54/11:04 - 男体山 11:20 - 御幸ヶ原 11:30/12:12 - 女体山 12:30/12:35 - 休憩 13:35/13:45 - 筑波山神社 14:20

## (2)早稲田大学山の会 齋藤壮呉さん(3年)登山報告

蓼科山登山日記 (2021.03.15 メール)

日程) 2021/03/07

天候) 雲→晴

メンバー) 3年齋藤壮呉, 3年糸林秀真, 2年佐山明嶺

コースタイム) 9:20 女神茶屋登山口-12:15 蓼科山山頂 12:35-14:15 女神茶屋登山口 (上 2h50m, 下 1h40m)

Day1

前日は各々甲府に集合。ゲストハウス“ソノママ”に泊まって、翌朝 6:46 の電車で茅野に向かう計画。

糸林は一足早く 14 時に甲府に到着。美術館で地元の美術系の専門学校の卒業作品をみたり、ワインを買って家に郵送していたらしい。自由だ。佐山 齋藤は 17 時に到着。ゲストハウスには受付すらおらず、ただ受付にあるテーブルにゲストハウスの案内の紙と部屋のカギの入った封筒だけが置いてあった。現地決済の方は封筒に現金を入れておいてほしいとのこと。

夜ご飯は焼肉。運動の前日は炭水化物がいいと聞かすが、目についてしまったのでやむを得ず。食後、ゲストハウスにてトランプなどしつつ 0 時まで雑談。人生相談が盛り上がりってしまった。



登山口にて、左から 齋藤、佐山。糸林



登山口から約30分地点

## Day2

6時に起床. 7:46に茅野駅に到着. 駅前で0°C. レンタカーを借り, 女神茶屋登山口駐車場に出発. この時期でも土日は満車になるという情報があったので, ちょっと不安だったが, 案の定 満車. ビーナスラインを少し下った女の神展望台に車を停めた.

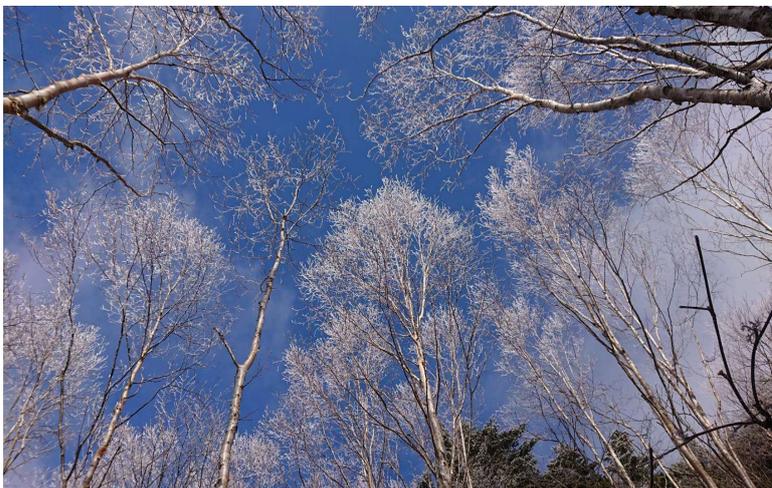
曇天だが風は弱く, 寒さもあまり感じなかったので, 軍手に上はフリースで出発. 写真2の通り, 登山口から30分程度は草や土の混じった道だった. 登りのときはよかったが, 下りのときはドロドロで歩きづらくなっていた.

頂上まで直登で加えてくもり空で, 特に面白味の無く, きつめの道をしばらく歩いたが, だんだん木々に霜が付き始めて, 景色の変化に盛り上がった.

ずっと太陽が隠れているわけではなく, たまに日が差すと美しかった. たまに出る青空も雪の白とのコントラストが美しかったが, カメラを取り出している間に隠れてしまうような具合だった. 雲の速さから山頂での風が案じられた.



霜・雪のついた木々



青空とのコントラスト

森林限界手前で登りがきつくなった。気温がそれほど低くないからか、風がないからか、雪はガリガリというわけではなく、チェーンアイゼンでは下りにくそうにしている人がちらほら。赤い帽子のおじさんも、下りに向けてチェーンアイゼンから12本アイゼンに履き替えているところだった(と思う)。

森林限界直下で装備を整えていたら下りてきたお兄さんが“曇ってはいるけど、流れているから、北側で待っていれば北アルプスが見える”と教えてくれた。

頂上手前で一瞬雲が切れてアルプスが見えて、見知らぬおじさんと一緒に感動で“おおおおおお！！！”と叫んだ。しばらく強風を受けながら山頂にとどまっていたが、きれいに見えたのはそれっきりだった。とどまっていられる程度には風は強くなかった。

おじさんに写真をとってもらったが、めちゃくちゃ手が映り込んでいた。そのおじさんとはしばらく一緒に話をしながら下った。途中で離れてしまったが、まさかまさか車が隣どうしで、先に下りて車で着替えていたら感動の再開を果たした。

山頂まで真っ白だったのに下りになって急に晴れた。登りで見られなかった景色が見られたので、屈せず下りることができた。6本の軽アイゼンがあったが、急坂もしっかり爪がきいてくれて怖い思いはせずに下りられた。

🍜はラーメンだった。



霜つき針葉樹



山頂手前 森林限界



おじさんの手？(蓼科山頂)



中央左に少しだけアルプスが映った